

## ■創造基礎科目群

主に初年次教育としてのキャリア、造形表現、教養などの総合的基礎科目です。

以下の13科目の中から自由に選択し、卒業までに3単位以上修得してください。

【クリエイティブワークショップI】 【クリエイティブワークショップII】

【ことばとコミュニケーションI】 【ことばとコミュニケーションII】

【百科学】

※上記5科目は入学年度のみ履修可能です。ただし、2021年度は「クリエイティブワークショップI」「クリエイティブワークショップII」は2年生も履修可能です。

「リーディングスキル」「リサーチ&リテラシー入門」「情報リテラシー論」「デッサン演習入門」

「デッサン演習基礎」「デッサン特殊演習I」「デッサン特殊演習II」「創造的工房論」

※上記8科目は1・2・3・4年生、いずれの学年でも履修可能です。

〈1年次、入学年度のみ履修可能な科目について〉

【クリエイティブワークショップI】 【クリエイティブワークショップII】 は連続した授業構成として、学科を横断してクラスをわけて授業が行われます。

【クリエイティブワークショップI】 はキャリア基礎学習と学習習慣の確立を含みつつ、学生自身が多様なワークショップという体験の森の中で、自身の主体性の発見と創造のエンジンを起動させます。さらにその集大成としての【クリエイティブワークショップII】によって巨大な「ねぶた」をグループで制作することで、コミュニティ作りと持続的な人間力形成を体感します。

【ことばとコミュニケーションI】 【ことばとコミュニケーションII】

みなさんがこれから大学で学び、さらに社会に出て学び続けるために必要な「ことばとコミュニケーションの能力」、そして、「学び続ける力」をはぐくんでいくための基礎的な姿勢を身につけます。1年次前期に日本語のコミュニケーションの基礎やプレゼンテーションの基本とマナーを学びます。

【百科学】

各学科の学科長と卒業生から専門分野や取り組みについて、レクチャーを受け、キャリアに対する意識を高めるとともに創作活動に対しての前向きな姿勢を強めていきましょう。

## ■芸術教養科目群

芸術教養科目は、芸術・アートの世界に何らかの形で関わってゆく上で、必要不可欠な教養科目です。重要な内容が多いので積極的にしっかり学んでほしいと願っています。芸術教養センターでは、多岐にわたる芸術教養科目を提供します。

## ■日本文化科目群

長い伝統のある芸能・芸道の中で今も息づいている日本文化の深い精神性を実際にそれらを体験することで感じ取ってもらう目的で様々な科目が開講されています。

在学期間中に、ぜひ日本の伝統文化に触れる機会を持ってほしいと思います。各自の履修スケジュールと考えあわせながら、積極的にチャレンジしてみてください。

## 〈留学生対象科目〉

「日本の文化と言語I」（前期） 「日本の文化と言語II」（後期）

留学生のみなさんは全員履修してください。もっと日本語の能力をのびたい人は2年次以降で「日本の文化と言語III」「日本の文化と言語IV」を履修することをおすすめします。

「異文化コミュニケーションI」「異文化コミュニケーションII」は留学生と日本人が共にコミュニケーションしながら学習する科目です。異文化交流に関心のある人におすすめします。

## プロジェクト演習科目について

### 1 プロジェクトとは

本学では、みなさんが芸術による社会貢献ができる人材の育成をめざし、「芸術と社会の関係を学び」、「社会人として必要な能力を身に付ける」ことを目的として、数多くのプロジェクトに取り組んでいます。企業との受託研究や商品開発、行政と連携した地域振興、大学独自の企画など様々なテーマで展開します。2022年度は約21本のプロジェクトに、延べ約560名が参加しました。

### 2 プロジェクト演習科目

上記のようなプロジェクトの中で、学年・学科を越えたグループ活動を通して、現実の社会にある様々な問題解決に取り組むものを、プロジェクト演習科目（Ⅰ～Ⅷ、各2単位）としています。この科目では、活動のテーマ及び内容、活動時間数、参加人数等によって単位認定を決定します。詳細は下記スケジュールの参加者募集時にお知らせします。

注意：全てのプロジェクトが「プロジェクト演習科目」になる訳ではありません。また、通常のWeb履修登録とは手続きやスケジュールが異なります。募集時に必ず確認してください。

### 【参考】過去に実施した主なプロジェクト

#### 【リアルワークプロジェクト】

( )内は委託企業・関連団体名

手しごと職人のまち東山プロジェクト（京都市東山区）  
ホスピタルアート「HAPI+」（京都大学医学部附属病院）  
粟田大燈呂プロジェクト（粟田大燈呂実行委員会）  
フコクアトリウム空間プロデュースプロジェクト（富国生命）  
ミス・パールプロジェクト（株式会社カムデン）  
台湾アートプロジェクト（台南芸術大学・京都市）  
南座看板制作プロジェクト（京都四條南座）  
京都クラウドファンディングプロジェクト（株式会社TomorrowFactory）  
学園祭お化け屋敷プロジェクト（本学自主企画）  
イルミネーションプロジェクト（本学自主企画）  
八代目儀兵衛プロジェクト（株式会社八代目儀兵衛）  
VIVAプロジェクト（株式会社ビバ）

#### 【ウルトラプロジェクト】

( )内はディレクター名

「モフモフ・コレクティブ」プロジェクト（ヤノベケンジ）  
ULTRA SANDWICH PROJECT（名和晃平）  
リモート・コントロール・エキシビジョン計画（明和電機）  
やなぎみわ演劇プロジェクト（やなぎみわ）  
COLORFUL LAB.（増田セバスチャン）  
日野工房設計プロジェクト（dot architects）  
ニッポン画×浮世絵プロジェクト（山本太郎）  
劇団四季『CATS』舞台美術製作プロジェクト（劇団四季）  
BUYBYPRODUCTS Circulation Studio（副産物産店・松本尚子・中村紀章・水迫涼太）  
企画・編集プロジェクトBYEDIT（多田智美・竹内厚）  
淀川テクニク！プロジェクト（柴田英昭）

### プロジェクト・ウルトラファクトリー 説明会日程

#### プロジェクト説明会日程

#### ウルトラファクトリー説明会日程

日時等については掲示または在学生専用サイトにてお知らせいたします。

## 2021年度開講 芸術教養センター就職支援授業

	1年次		2年次		3年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
<b>数学基礎</b> 生きるためのサバイバル数学	<b>数学基礎Ⅰ（前期）・Ⅱ（後期）・Ⅲ（前期）</b> Ⅰ～Ⅲのレベルは全て基礎、内容が異なる。Ⅰは最頻出問題、Ⅱは頻出問題、Ⅲは準頻出問題 ※Ⅲのみ2021年度～開講					
	履修例 A・B・Cパターン ※履修の順番は問わない。いずれか1科目or2科目履修も可。					
	A	数学基礎Ⅰ	数学基礎Ⅱ	数学基礎Ⅲ		
	B		数学基礎Ⅱ	数学基礎Ⅰ		数学基礎Ⅲ
C			数学基礎Ⅰ	数学基礎Ⅱ	数学基礎Ⅲ	
<b>キャリア形成</b> 将来設計（進路）をつくる		<b>キャリア研究基礎</b> 「理想の学生生活・将来設計（進路）をつくる」				
<b>キャリア実践</b> インターンシップ（就業体験）・就職活動に備える				<b>キャリア研究実践/就職対策Ⅱ</b> 「自己理解・職業理解を深め、インターンシップに向けて準備＆実践する」	<b>就職対策特講</b> 「インターンシップ実践&就職試験本番に向けた総合対策」	

## 4年間の流れ

## 1年次

●大学入学から半年が過ぎた後期の「キャリア研究基礎」では、これからの大学生活、さらに先の将来をどう生きるかを考える。対話を通して、さまざまな意見を聴き、自分のなかにあるエンジンを発見していく。

●「数学基礎Ⅰ～Ⅲ」では、大学での学習ならびにキャリアデザインに必要な数学力の基礎を身につける。計算力はもちろんだが、大学での授業、実生活、社会に出たときに使える「実用性の高い数学」を学ぶ。これまで算数・数学に苦手意識のあった人こそ受けてもらいたい。

## 2年次

●後期から本格的なキャリアデザインプログラム「キャリア研究実践」がスタート。3年次から始まるインターンシップ・就職活動に向けて、自己理解・職業理解を深めながら志望業界・職種を「やりたいこと」と「できること」の2つの方向を定め、3年次4月からの行動計画を立て、実践していく。

●引き続き、「数学基礎Ⅰ～Ⅲ」では「実用性の高い数学」を学ぶ。マイナビ模試の点数UPにもつながる内容で3年生前期までに苦手を克服してほしい。

## 3年次（前期）

●就職活動を実践していく3年次。前期の「就職対策特講」では、インターンシップエントリー解禁日の6月1日に向けて就活準備を進め、6月1日以降は実際にエントリー・応募していく。秋冬から始まる早期選考、さらに就職試験本番に向けた総合対策。就職希望者に強くおすすめする。

●引き続き、「数学基礎Ⅰ～Ⅲ」では「実用性の高い数学」を学ぶ。マイナビ模試の点数UPにもつながる内容で3年生前期までに苦手を克服してほしい。

## 3年次（後期）～4年次

●内定（就職が決定すること）や自分の進路が決定するまで活動を続ける。就職支援授業はないが、代わりに3年次後期は放課後に学内で開催される「就活講座」を活用しながら、キャリアデザインセンター（人間館1F）で個別にサポートを受ける。

## 就職支援授業とキャリアデザインセンター

就職支援授業を運営する「芸術教養センター」と、ひとりひとりの進路を個別にサポートする「キャリアデザインセンター」は密に連携しています。就職支援授業を履修することで、スムーズにキャリアデザインセンターを活用できるようになります。